

の取り組みを開始 い議会活動に向けて～

経済文教常任委員会



会議風景

委員長 鈴木康裕
副委員長 村井利行
委員 長谷川秀樹
委員 安中経人
委員 杉本初美

〈委員会構成〉

〈近況報告〉

常任委員会（7月13日開催）

調査事項 「水稻の育成状況の視察」

水稻作付での新しい取り組みをした圃場の視察をしました。乾田直播、湛水直播、高密度播種移植栽培での生育状況、並びに酒米やGPS田植機を使用した規則的な並びの稲の美観にも感動しました。

5月は低温傾向で生育も停滞気味でしたが、6月になり高温・多照となり生育が進み、視察時には各圃場とも良好な成長がみられました。

常任委員会（8月30日開催）

調査事項 「南4号線踏切視距改良舗装工事状況」

「ふるさと公園整備事業の進捗状況」

南4号線は踏切を撤去し、舗装工事まで完成。路線の凸部を最大65cm切り下げ道路勾配を2%以下にすることで視距の確保と安全性が向上しました。西1線との交差点は信号機が取り付けられ、なお一層の安全性が確認できました。

ふるさと公園は既存のトイレ改修を実施。入り口にエアカーターを新設、洋式便器ウォシュレット化、洗面カウンター設置により快適に使用できるようになりました。オートキャンプサイトも11カ所整備され、電気の使用にも対応しています。展望デッキも新設され、町内の風景も眺望でき、訪れる人の心を和ませるものと期待されます。

〈今後の方針〉

新型コロナウイルス感染対策が続く中、新たな長期的経済対策が求められています。地域の声をすくい上げて、諸機関に要望していきたいと思っております。



総務民生常任委員会



会議風景

委員長 小玉博崇
副委員長 井向一徳
委員 長名 實
委員 西内 陽美
委員 進藤久美子

〈委員会構成〉

〈近況報告〉

常任委員会（8月27日開催）

調査事項 「災害用資機材の整備状況」

新型コロナウイルス感染症対応臨時交付金等で整備した資機材と保管状況について調査を実施しました。

内容

役場、役場車庫、防災センターの資機材保管状況を調査。役場では防災用発電機を確認。停電になると自動起動し災害対策の拠点箇所に電力を供給。エラー発生時には2階管理室の中央電子版から警報音になる仕組み。役場車庫には、毛布や消耗品など生活必需品が保管。発電機など重いものは1階、軽いものは2階に保管され、壁には資機材一覧表が張り出され、資機材の保管場所と在庫量が一目で分かるようになっていました。防災センターには、避難所で使用するベッドや間仕切りを保管。昨年、入口開放部の拡張とトラックに搬入できるよう改修工事がなされており、内部はパレットとハンドリフトにより少ない人数で多くの資機材を搬入できる環境になっていました。

課題

- ◎発電機等の動作確認は定期的には実施されているが、懐中電灯やラジオなどの小型電子機器などの動作確認まではなされていなかった。
- ◎備蓄食を倍増した際、期限切れ備蓄食の処理方法の検討。
- ◎避難所のペットの扱いを住民に周知。

〈今後の方針〉

新型コロナウイルスの影響で延期になった総合防災訓練。コロナ禍における避難所運営を委員会でも検証しながら、引き続き協議を進めていきます。



委員会活動でICT ～コロナ禍に負けな

議会運営委員会



会議風景

委員長 西内陽美
副委員長 井向一徳
委員 安中経人
委員 小玉博崇
委員 鈴木康裕

〈委員会構成〉

〈近況報告〉

報告事項 「議会モニター制度設置協議」

「議会モニター制度」を設置している沼田町の視察、複数の町議会を調査。設置目的が『町議会の運営等に関し、町民からの要望、提言、その他の意見を広く聴取し、町議会の活性化や政策提案機能を強化する』ものであると確認。議会モニター経験者から議員が誕生した一例もあり、議員を目指す人材発掘効果にも期待できることを実感しました。

当議会ではまず、町民と議員が共に学び、研修会等を通じて議会活動への関心や参加意欲が高まった時点で議会モニターを公募することとしました。

報告事項 「夜間議会の開催に向けた検討」

昨年9月の第3回定例会において本町議会初の夜間議会を開催し、高い評価と継続を希望する意見があったことから今年度も9月開催の方向で検討していました。しかし、コロナ禍であることや庁舎前庭が工事中であり夜間の安全性の確保が得られないという理由から理事者側の理解・協力を得られず開催を断念しました。引き続き、次年度開催に向け協議します。

〈今後の方針〉

インターネットを活用した動画配信により、議場に足を運ばずとも傍聴できる環境を整備する方向性と合わせて、多くの方が議場に足を運び傍聴していただく機会も町民の選択肢の一つとして重要と考えます。

日中は勤務などの理由で議会の傍聴が難しい方に対して、どのような方法で傍聴の機会を創出できるか検討を続けていきます。



広報広聴常任委員会

委員長 杉本初美
副委員長 進藤久美子
委員 井向一徳
委員 村井利行
委員 長谷川秀樹
委員 長谷川秀樹
委員 安中経人
委員 西内陽美
委員 鈴木康裕
委員 小玉博崇
(広報班)

〈委員会構成〉

〈近況報告〉

報告事項 「動画による議会報告会実施に向け検討」

新型コロナウイルスの影響により、議会として住民の方と対面し情報を直接伝える、聴くという活動が難しい状況の中、2年が経過しようとしています。委員会ではインターネットを通じた広報、広聴活動を検討し、このたび、動画配信による議会報告会を実施することとなりました。議会として動画撮影、動画編集は初めての挑戦となりますが、少しずつ技術を身に付け、インターネットを活用した広報広聴活動で身近な議会を目指します。

報告事項 「議会だより+動画で広報力アップへ」

議会だよりをただ読むだけでなく、ICT機器を通じて聴く、見る議会だよりを目指し、今月発行の議会だより動画データを載せました。今回は、委員会トピックスの総務民生、経済文教両常任委員会の調査事項等を動画で報告します。今後、少しずつ動画記事の掲載を増やし、議会の活動をより分かりやすくお伝えする「議会だより」を目指して取り組みます。



経済文教常任委員会報告
QRコード



総務民生常任委員会報告
QRコード

〈今後の方針〉

コロナ禍の中でも住民のみなさんの声に耳を傾ける、議会の情報を届けることができる新たな広報広聴活動を実現するため協議を進めていきます。町民の声や思いを町政に運び、形にできる議会活動により町が一層繁栄するよう取り組みます。

